

東京都立東大和南高等学校長 川瀬 徹 様

この度は、創立四十周年にあたり、記念式典のご案内状をありがとうございます。

おめでたいお誘いに、このような返事をさし上げるのは申し訳ないのですが、父山口俊治は今年4月2日に95歳の生涯を終え永眠いたしました。

存命であれば、なんとしても出席したであろう父の無念を思うと、遺影を持ってでも出席させていただきたいところですが、それもご迷惑であろうと、本状をしたためさせていただきます。

新設校の初代校長を任じられたことを誇りに思い、大学生だった私に車を運転させ、祖母(父の母)を連れて、まだ周辺が草っぱだらけだった開校前の新設校舎を共に訪れたことが思い出されます。校章や制服を決めたり、校風や都立校初の習熟度別指導などたくさんの案件に取り組んだり、大変ながらもやりがいを感じ邁進していた教師時代の父の姿を思い起こしては、懐かしく思います。

式典のご案内状とNo.1と書かれたお葉書は、父の仏壇にお供えさせていただきます。

父に代わりまして、これからも東大和南高校のご発展と、在校生並びに卒業生の皆様のご活躍を祈念し、周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

令和6年8月20日

松澤 真弓(東京都立東大和南高等学校初代校長 山口俊治 長女)